

---

# 等身大《ありのまま》に

最幽鬼

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ありのまま  
等身大に

### 【Nコード】

N4451H

### 【作者名】

最幽鬼

### 【あらすじ】

日常会話中心？のお話です。主人公と呼べる人物は『私』としか表現しておりません。ありそうでもあり無さそうでもあるそんな日常のお話です。

**(前書き)**

初投稿です。

未熟な部分はおいおい直そうと思います。

作者の我がままな感じ方もあるでしょうが、そこは、一つの作品としてご容赦下さい。

「ただいま…。」

一人暮らしの暗い部屋で響く虚しい声

帰りを待つ者は…

当然のように居ない。

いつものように、風呂に入って  
寝るだけだ…。

RRRRRRRR…

電話が鳴った。

「誰だ？こんな時間に…。」

時計を見ると、ちょうど2時を過ぎたところだった。

「もしもし？」

『もしもし…？』

電話の相手は知り合いの女性の先輩だった。

『迷惑じゃなかったん…？グスツ…』

(泣いてる。また何かあったんかな…？)

「ん？大丈夫やで…。何かあったん？」

まああったのだろう。泣きながら電話をして来るなんて、私にとっ  
ては日常茶飯事だ。

(とは言っても邪険には出来ない。先輩が落ち着くまで話を聞こう  
…。)

『実はな…』

『

(ふむ…)

何の事は無い。親への反感と兄弟喧嘩が重なって、感情の捌け口が  
無かったらしい。

そして、喧嘩をした自分が嫌で考えてたら泣けてきた…と、  
そんな感じらしい。

こういう時は静かに話を聞いてやればいい。

『……………ふう……………』

「落ち着いた？」

『……………うん。』

暫く沈黙はあるものの、しっかりした返事が返ってくる。

「そっか…。」

『…なんか、いつもの事やけどごめんな…。』

「…いいよ、今更やる〜（笑）」

『…せやな（笑）』

「でも、一つだけ言わせてもらおう…。私たちは人間やねんから、どうしても嫌になる部分はある。だからこそ、等身大ありのままでええんとちやうか？」

『…ありのままって…？』

「何か自分や相手に対して、嫌なふうに思ったんやろ？」

『……………うん。』

「その気持ちを忘れんようにしたらいい。ただそれだけの事や。」

『……………なんでなん？……………』

「それは自分の正直な気持ちやからや。相手の言葉も正直な相手の気持ちやからや。」

さらに私は続けた。

「自分には、耳に痛い言葉かもしれへん。でも相手の気持ち 自分分の悪い所を写す鏡みたいなもんやから…。今はわからんでもいいから、もうちょっと落ち着いたら考えてみて？」

『……………うん、よう分からんけどわかった。』

ふう…

今夜はやつと寝れそうだ。

そして、これが今の私の等身大。ありのまま

ただ、布団が恋しい。

もう4時を過ぎている…

さっさと寝よう。

まどろむ意識

途切れる記憶

携帯の充電も忘れて…夢の中

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4451h/>

---

等身大《ありのまま》に

2010年10月21日20時29分発行